

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県 洲本市

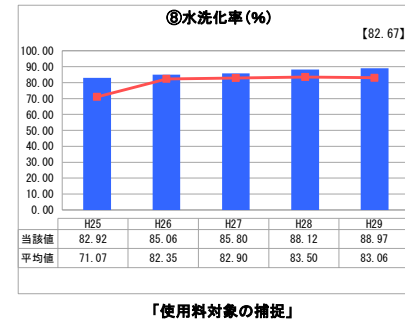
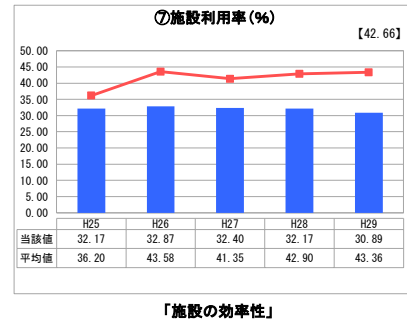
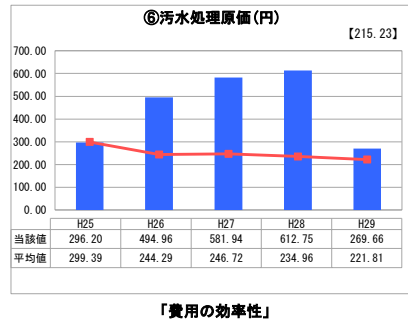
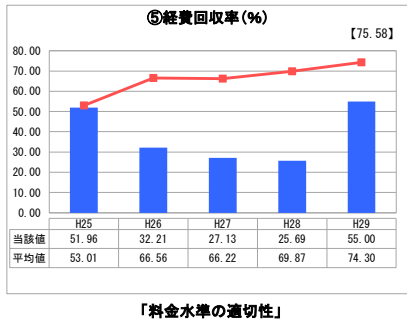
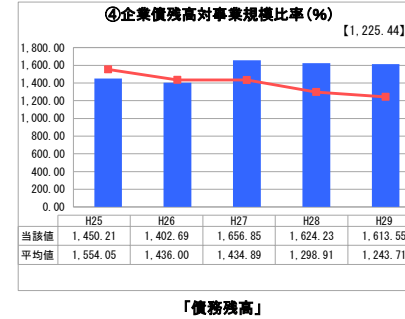
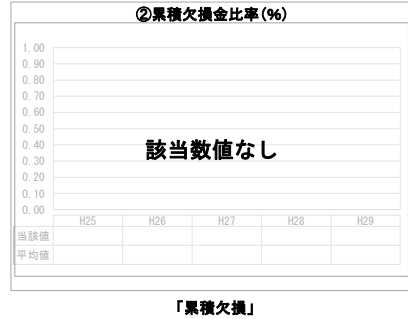
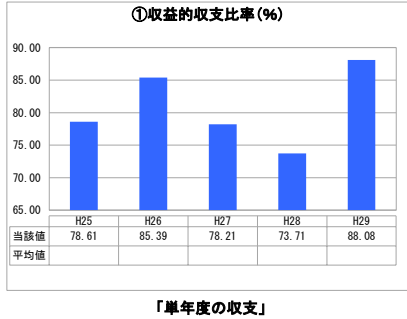
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.12	105.84	2,484

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
44,796	182.38	245.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,387	0.61	2,273.77

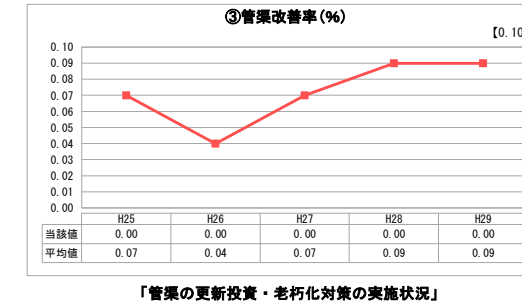
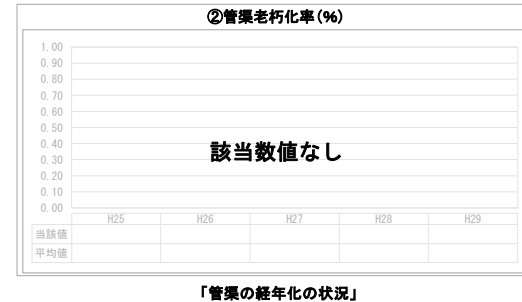
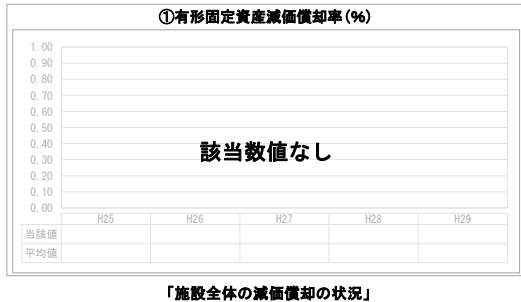
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

洲本市の特定環境保全公共下水道は、平成6年1月に事業着手し平成11年12月に供用開始しています。

平成29年度に事業計画の変更を行い事業計画区域を拡大しました。

収益的収支比率は前年と比較すると数値が増加しています。これは、分母となる営業費用の減少に加えて、他会計繰入金が増加しているためです。他会計繰入金の増加は平成30年度の公営企業会計導入の際、会計制度の切り替え準備のため見かけの繰入額が多く算出されていたことによります。

類似団体平均値と比較すると経費回収率は低く、汚水処理原価は高くなっています。これは、処理場設備の老朽化による補修工事が増えているためです。処理場設備については、個々の状況を把握して長寿命化するための工事を行うことで補修工費を削減し、経営の効率性を高めます。

また、平成30年度より公営企業会計を導入しています。これにより、事業の経営成績や財政状況を基礎とした経営状況を的確に把握するとともに、経済性が発揮されているかを検証することができ、より機動的で柔軟な経営を行うことを通じ、経営の質と効率性を向上させることが期待できます。

2. 老朽化の状況について

洲本市の特定環境保全公共下水道の管渠は、法定耐用年数を超えるのが最も古いもので20年以上先となります。

それまでに、管渠の老朽化の状況を把握しながら更新・長寿命化等の対策が効果的に行えるように計画します。

全体総括

洲本市の特定環境保全公共下水道については、管渠の整備・水洗化が進んでいるが、維持管理費・補修工費により汚水処理原価が高くなっています。今後は公共下水道と一体的に維持管理を見直していき経営の健全化を目指していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。